

平成31年度当初予算

新元号のもと、 光り輝く秩父市創造

一般会計予算額 280億円

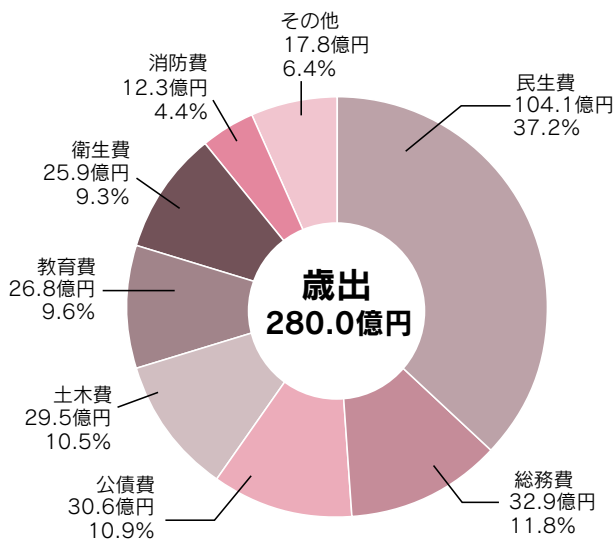
〔前年度比 ▲1.3%〕

平成31年度予算が、3月に行われた市議会定例会で可決されました。

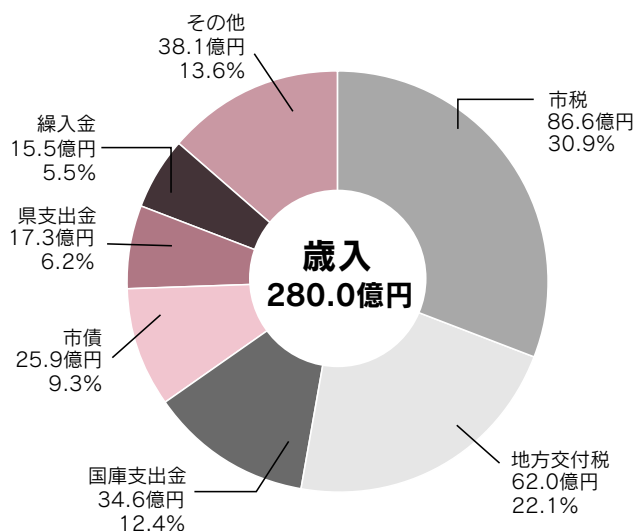
前年度に実施した防災行政無線システム整備事業の完了などにより、平成31年度予算は前年度と比べ規模が縮小しました。前年度から実施している旧秩父セメント第一プラント跡地への市道整備のほか、新たな事業として、森林環境譲与税を活用した事業や、尾田蒔中学校校舎大規模改造事業など、次の時代の秩父を創る事業を盛り込みました。

光り輝く秩父市を築くため、満足度の高い市民サービスの提供を進めていきます。

一般会計の歳出



一般会計の歳入



一般会計予算の概要

【歳入の概要】

歳入では、固定資産税や市民税の増収が見込まれ、市税全体でも増収を見込みました。

市にとって重要な収入である地方交付税は、合併特例措置の縮減などにより減少傾向にあります。

【歳出の概要】

民生費には、子育て環境の整備を図るため、市内の認定こども園・保育園の整備に対する補助金などを盛り込みました。総務費には、移住促進により人口増を目指す移住奨励金制度などを計上しました。土木費には、前年に引き続き、旧秩父セメント第一プラント跡地へ企業誘致を推進する道路整備事業を計上しました。教育費には、大規模な学校施設の改修事業を、衛生費には聖地公園の墓地等造成事業を計上しました。

【用語解説】

地方交付税…全国で同水準の行政を行うために交付される財源

市債…市の借入金

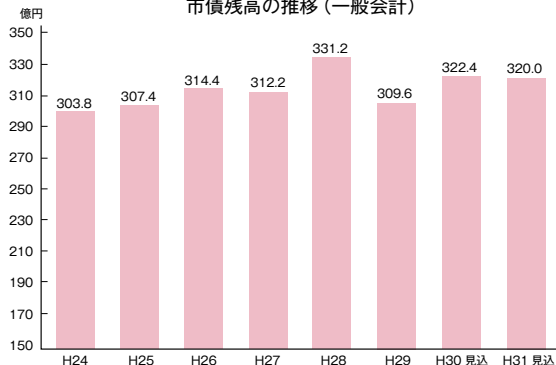
民生費…児童、高齢者、障がい者福祉のための経費や生活保護の経費

総務費…市の計画の策定や推進、内部管理、選挙等にかかる経費

【市債残高の状況】

31年度末の市債残高は約320億円となる見込みです。大規模事業の完了などの要因で、30年度末と比べて約2億円の減少となります。32年度以降も基金の活用などにより市債の抑制を進め、残高は減少する見込みです。

市債残高の推移（一般会計）



公債費…借入金の返済

土木費…道路、河川、公園などの建設や維持管理にかかる経費

教育費…学校教育の充実、生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツの振興のための経費

衛生費…市民の健康づくり、環境保全のための経費

平成31年度 注目の事業

人口減少への対応

●移住促進奨励金の創設【新】

〔2,000万円〕

2種類の移住奨励制度を新設します。①45歳以下の方が、秩父地域外から市内へ移住し、市内企業へ就職して賃貸住宅を借りる場合の奨励金（20万円）、②東京23区在住・在勤の方が市内に移住して指定業種の中小企業に就職した場合の補助金（限度額100万円）

地域経済の活性化

●旧秩父セメント跡地整備事業

〔2億1,320万円〕

旧秩父セメント第1プラント跡地への企業誘致を加速させるため、道路と上下水道を整備するとともに、国道140号秩父陸橋平面化に向けた測量設計業務を行います。

●ドローン活用事業【新】〔81万円〕

産業用ドローンを導入し、災害対策やインフラ点検、農林業分野でのドローン活用の研究を行います。

●BMXコース改修事業【新】

〔3,000万円〕

滝沢サイクルパークBMXコースのスタート台を改修し、国際大会が開催可能なコースにします。

子育て・教育の充実

●認定こども園等整備事業

〔3億8,183万円〕

私立の認定こども園整備、認可保育園の整備に対する補助金を交付し、子育て環境の充実を図ります。

●英語教育強化推進事業【拡充】

〔260万円〕

中学2年生を対象に英語能力判定（GTEC）を導入し、聴く・話す・読む・書くの4つの英語力を把握し、英語指導に活用します。

●秩父一小トイレ改修工事【新】

〔9,710万円〕

秩父第一小学校のトイレを洋式化するとともに、床・壁・内装等の改修を行い、トイレ環境の改善を図ります。

●尾田蒔中学校舎大規模改造工事【新】

〔3億5,235万円〕

老朽化した尾田蒔中学校校舎の大規模改造工事（防水、外壁、内装、電気設備等）を行います。



大規模改造が行われる尾田蒔中学校

●子どもの居場所づくり推進事業【新】

〔127万円〕

子どもの居場所づくりや子育て支援を目的として「こども食堂」等を運営する団体に対し、開設・運営経費の一部を助成します。

森と文化をつなぐ

●森林環境譲与税運用事業【新】

〔2,570万円〕

平成31年度から交付される予定の森林環境譲与税を活用し、民有林の集約化・森林整備を進め、林業活性化と秩父産木材の利用促進に取り組みます。

●秩父祭屋台保存修理事業【新】

〔3,233万円〕

文化庁の補助を受け、国指定重要有形民俗文化財である中町屋台、下郷笠鉾の保存修理を行います。

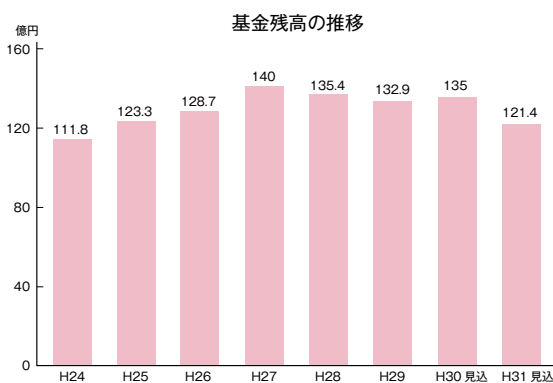
社会ニーズに応える

●聖地公園合葬墓等墓地造成工事【新】

〔4,100万円〕

墓地に関する多くの要望に応えるため、2万体の納骨が可能な新たな合葬墓および、249基の芝生墓所の整備に向けた第1期造成工事に着手します。

※特別会計、企業会計の予算の概要は市HPでご覧いただけます。
問 財政課 ☎ 22-2203



【基金残高の状況】
一般家庭での貯金にあたるのが基金です。市では、計画的に基金への積み立てを行い、財源を必要とするときに取り崩しを行っています。28年度では本庁舎等建設事業の財源として、29年度では市債償還の財源として取り崩したため残高は減少しましたが、30年度末にはふるさと納税寄附金の基金への積み立てなどにより増加しました。市民一人当たりの基金残高は、県内の他市町村と比較して高いレベルにあります。
今後も市債と基金のバランスに配慮しながら、基金の使い道を決めていきます。